

令和4年度咲くやこの花賞受賞者
《文芸その他部門》

一穂 ミチ [小説]

1978年（昭和53年）1月生まれ（45歳）



[贈呈理由]

ボーイズラブ小説の分野で数多くの書籍を著し人気を集めてきたが、近年、一般の文芸作品でも注目され、ジャンルを超えた活躍をみせる。繊細な言葉選びで人間関係を巧みに描く確かな筆力と物語の構成力を持ち、近年、文学賞の候補に立て続けに選ばれるなど、将来性の高い注目の書き手であり、今後さらなる飛躍が期待される。

[プロフィール]

2007年「雪よ林檎の香のごとく」でデビュー。ボーイズラブ小説を中心に活動を始め、2021年に初の一般文芸単行本「スモールワールド」を講談社より刊行。吉川英治文学新人賞、本屋大賞第3位を受賞したほか、第165回直木賞候補、山田風太郎賞候補にも選ばれる。2022年2月に幻冬舎より刊行した「砂嵐に星屑」では山本周五郎賞の候補に。最新刊「光のところにいてね（文藝春秋）」で第168回直木賞候補に。